

## Java 基礎問題-02-02-17

Java 基礎問題-02-02-16 で作成した AccessorFactory に createAccessorFromCSV()メソッドを追加します。  
このメソッドは、csv ファイルパスを第 1 パラメーターで受け取り、setter/getter のコードを生成してコンソール出力と第 2 パラメーターで指定したファイルの両方に出力するものです。  
以上の内容を Java で実装してください。

クラス図に不足している情報があれば考えて補ってください。

KadaiAccessor17.java に main()メソッドを作成し動作を確認してください。

AccessorFactory
<pre>public String createAccessor (String typeName, String fieldname) private String getUpperString (String str) public void createAccessorFromCSV (String csvFileName, String outputFileName)</pre>

### ヒント

#### ▼必要とされる知識

I/O

CSV ファイルの仕様と操作

#### ▼考え方のポイント

・ファイルへの I/O の回数を減らし、効率的に読み込むにはどの Stream のクラスを使うか検討してください。

・CSV ファイルは値をカンマ(,)で区切られたファイルです。実行結果の src.csv の1行目を見ると、第一要素(型名:String)と第二要素(変数名:name)があります。2行目も同様です。これらの情報を元にして、setter/getter のファイルを作成します。

・ファイルからの行読み込みは既習事項ですが、カンマで区切られた型名と変数名をどのように取得するのか自身で検討/調査し実装してみましょう。

**実行結果** ※数値と記号は半角を利用してください。

※インデントは半角スペース 2 つにしてください。

※以下実行結果の通りコンソールに出力されるように実装しましょう。

src.csv

```
String,name  
int,age  
byte[],array
```

### ①コンソール出力

```
public void setName(String name){  
    this.name = name;  
}  
public String getName(){  
    return name;  
}  
public void setAge(int age){  
    this.age = age;  
}  
public int getAge(){  
    return age;  
}  
public void setArray(byte[] array){  
    this.array = array;  
}  
public byte[] getArray(){  
    return array;  
}
```

## ②ファイル(output.txt)出力

```
public void setName(String name){
    this.name = name;
}
public String getName(){
    return name;
}
public void setAge(int age){
    this.age = age;
}
public int getAge(){
    return age;
}
public void setArray(byte[] array){
    this.array = array;
}
public byte[] getArray(){
    return array;
}
```